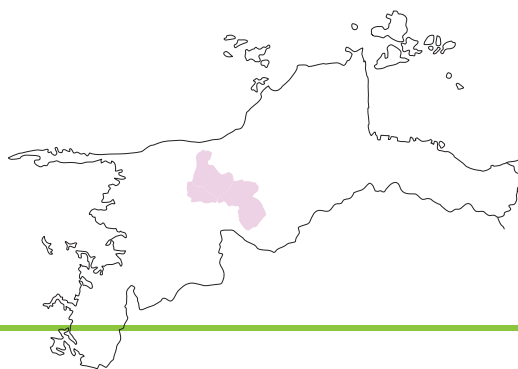


# 愛炭 企業組合



内子町

「炭焼き・炭窯造りの名人」による  
茶道用高級炭製造・販売事業

## 1 事業内容

炭窯を造成し、地域資源である「林産物」を活用して、新市場をターゲットに炭焼き製造・販売事業を行うとともに、炭焼きを通じて森林の活性化を図る。



## 2 事業背景

山林面積が8割を占める内子町では、維持管理がなされていない放置林が増えており、保水力の低下による災害等の要因となっている。特に石畳地区においては、若者の圏外への流出や農林地の荒廃が進み、それに伴う集落の衰退で過疎化・高齢化が著しく進行しており、地域の活力が低下している。

こうした現状を踏まえ、荒れた山と耕地を自らの工夫と努力で守り育て、山の恵みを味わうことができる暮らしを創造するため、事業として成り立つような林業を構築し、地域の活性化につなげたいとの思いから本事業を計画した。

## 3 事業、技術、商品の特徴



大木代表

全国でも屈指の「炭焼き・炭窯造りの名人」である当組合代表者は、茶道裏千家淡交会からの厳しい要求水準を充足する茶道用高級炭を提供できる、数少ない製炭技術の持ち主である。

生産された茶道用高級炭は茶道裏千家淡交会などに納められており、その品質は全国の愛用家に高く評価されている。

#### 4 助成内容及び効果

「炭焼き・炭窯造り名人」である代表者の製炭技術が弟子に継承されつつあるなか、今回の助成金で調達した作業機械類により、原木の切り出しや集材等において、作業能率が飛躍的に高まった。こうした取り組みにより、高品質の炭を増産できる体制が整い、地域の活性化につながる事となった。

#### 5 今後の展望

裏千家淡交会などからの信頼を一層高めるため、引き続き製炭技術の維持・向上に日々努め、高品質かつ安定増産体制を構築していくとともに、本事業の推進が地域の活性化につながることを念頭に置き、地域と共存した事業に取り組んでいく。

また、地域資源である原木の姫クヌギを活用していく一方で、放置林については間伐等の管理伐採を行い、森林の保守と活性化に努め、将来に向けた資源確保に取り組んでいく。



#### Message From Entrepreneur

不足している国内産茶道炭の現状をもっと多くの生産者に知ってもらうため、「茶の湯炭の世界・全国大会 in 内子」を、9月18日より3日間開催します。高い技術を要求される世界ではありますが、まだまだ可能性を秘めた業界です。興味のある方はぜひご参加ください。

#### 企業概要

〔代表者〕 代表理事 大木 一  
〔住 所〕 喜多郡内子町石畳5251  
〔設 立〕 平成22年1月  
〔TEL〕 0893-44-2553  
〔FAX〕 0893-44-2553  
〔URL〕 <http://www15.ocn.ne.jp/~sumiyaki/index.htm>